函館新聞（令和７年12月20日）

中学作文地方大会、ポスターコン表彰式

「人権」力強く表現

【北斗】函館地方法務局ト函館地方大会」と「人権ポスターコンテスト」の表彰式が6日、七重浜住民センターで開かれた。

同コンテストは、次の世代を担う小中学生に人権を尊重することの重要性や必要性について理解を深めてもらうことを目的として毎年実施されている。今年度は、同局管内（渡島・桧山管内と後志管内の一部）の小中学校から、人権作文コンテストに管内19校から572点、ポスターコンテストには小中学校合わせて247点の応募があった。

作文コンテストで最優秀賞に当たる函館地方法務局長賞に輝いた函館聾学校中学部2年の福井稜馬さん（13）の「コンテンツの力」は、両耳に補聴器を付けて生活する自身の経験と、ある映画との出会いから、社会に存在する障害を理由にした差別を知ったことをまとめた。福井さんは「リスペクト（敬意を持つ・尊重する）という気持ちこそが、差別やいじめのない社会を作るための心のつながりにつながる」と、手話を交えながら、自身の思いを力強く伝えた。

講評では、函館人権擁護委員連合会の柳谷会長が、福井さんの作品を「小さい頃から差別を受けたことがなかったという彼が、映画をきっかけに相手へのリスペクトの大切さを知り、その思いを表現した点を評価した」と説明。函館地方法務局の二葉局長は「子どもたちの豊かな人間性が育まれていると感じた」とした上で、「自分がされて嫌だと思うことは、決して相手にはしないという思いやりの心を大切にしてほしい」と話した。

福井さんは「小学生の頃に見たアニメ映画『聲の形』を思い出しながら書きました。最優秀賞は予想外だったので、うれしい」と話し、同じく優秀賞を受賞した同校2年の三上ゆづ希さん（14）は「まさか賞を取れるとは思っていなかった。作文は苦手だけれど頑張った」と、受賞を喜んでいた。

（市丸和秀）

最優秀賞の賞状を受け取る福井さん

受賞者は次の通り（敬称略）。

◇作文▽最優秀賞・函館地方法務局長賞＝福井稜馬（函館聾学校２年）

以下優秀賞▽函館人権擁護委員連合会長賞＝三上ゆづ希（同）▽道知事賞＝高橋ひかり（北桧山３年）▽道教委教育長賞＝有倉花（北斗上磯２年）▽道ＰＴＡ連合会長賞＝岡川志穂（七飯１年）▽ＦＭいるか賞＝杉浦太一（道教育大付属函館２年）▽北海道新聞社賞＝工藤るな（奥尻３年）▽ＮＨＫ函館放送局長賞＝野口未愛（北斗上磯３年）▽函館新聞社賞＝佐藤花夏（七飯２年）▽ＮＣＶ函館センター長賞＝古館ひかり（厚沢部３年）

◇ポスター

【小学４年の部】▽最優秀賞＝森陽羽（上ノ国河北）▽優秀賞＝本間もも（福島吉岡）、吉岡亜依里（黒松内）▽奨励賞＝中谷心富（同）、田原惇之介（森）、沢田李來（黒松内白井川）

【同５年の部】▽最優秀賞＝山田優衣（寿都）▽優秀賞＝石山麗（上ノ国）、上林芽以（函館中の沢）▽奨励賞＝西諫祐（上ノ国）、水沢千愛（福島吉岡）▽千葉遥斗（寿都）

【同６年の部】▽最優秀賞＝中里心々優（函館中央）▽優秀賞＝太田颯馬（厚沢部）、新山芽依（福島吉岡）▽奨励賞＝足利愛真（今金）、小間道雅（黒松内）、佐藤琥太郎（福島吉岡）

【中学１年の部】▽最優秀賞＝中野麗（江差北）▽優秀賞＝笠木葵（函館白百合）、米田結咲（函館港）▽奨励賞＝沢田紘生（江差北）、渡辺想人（同）

【同２年の部】▽最優秀賞＝国井理（七飯）▽優秀賞＝福田結衣（函館港）、中田世菜（島牧）▽奨励賞＝小幡汐里（七飯）、山内湖都音（せたな大成）

【同３年の部】▽最優秀賞＝氏名非公開▽優秀賞＝杉渕あかり（北斗茂分）、石川愛恵莉（七飯）▽奨励賞＝高橋翔琉（上ノ国）、二宮悠（厚沢部）、松橋咲綾（同）